

テーマ：住民の生きがいづくり 対象：地域住民 主催：佐方市民センター

E-③ 七福大学（高齢者学級）

地域を学ぶ	○	地域でつながる	○	地域に還す
-------	---	---------	---	-------

1 学習プログラムの展開（令和3年度）※原則，毎月第3木曜日 13:30～15:00

日程	場所	学習・活動内容
4月15日（木） 13:30～15:00 （前年度延期事業）	佐方市民センター	○落語「笑いは長寿の国へのパスポート」 講師：落語家 秋風亭てい朝
（5～6月は，感染症予防のため休止）		
7月15日（木） 13:30～15:00	佐方市民センター	○人生100年時代教養の磨き方 講師：山陽女子短期大学 教授 金岡 敬子
（8～9月は，感染症予防のため休止）		
10月21日（木） 13:30～15:00	佐方市民センター	○名勝縮景園の歴史と美意識 講師：広島県立美術館 学芸員 隅川 明宏
11月18日（木） 13:30～15:00		○大人の快眠 講師：山口県東部ヤクルト販売 保健師 赤木 千香
12月16日（木） 11:00～13:00		○さがたミニ野菜市 ・地域住民が栽培した野菜を販売し交流
1月20日（木） 13:30～15:00		○落語「火焰太鼓」（他2席） 講師：落語家 秋風亭てい朝
2月17日（木） 13:30～15:00		○宮島を描いた錦絵について 講師：県立広島大学 特命講師 大知 徳子
3月17日（木） 13:30～15:00		○唄と健康のギター漫談 講師：シンガーソングライター 風呂 哲州



センター長による挨拶



落語家による演目披露



大学教授による講演

対象	佐方地域にお住いの高齢者の方（地域外からの参加も可能）
経費	報償費（廿日市市の規定に準ずる額で，センター運営費より支出） （講師によっては報償費の支出無し）※社会貢献活動等のため
連携先	各回の講師（講師の所属機関）

問合せ先	廿日市市佐方市民センター 〒738-0001 廿日市市佐方一丁目4-28 電話：0829-32-5049 ファクシミリ：0829-32-5073
------	--

2 講座設定の理由（学習の目的）

○佐方地域は宅地開発等が進み、人口は増加傾向であるが高齢化も進んでいる。そのため、高齢者の生涯学習を推進していく観点から、市民センターが拠点となり、年間を通した学び場として定期的に「七福大学（高齢者学級）」を開講する。

3 学習目標

○年間を通して、月に一度、時事の話題や問題等について講師等の話を聞き、これからの生き方や考え方について、多様な視点から学ぶ。
○地域の高齢者が学びを通して交流する。

4 事前に必要な知識や準備物

○各回の講座内容や講師を検討し、年間計画を立てる。
○「広報さがた」で講座内容の紹介を行う。広報誌は他の市民センター等でも配付する。
○講師と連携し、配付物や当日使用するパソコン、プロジェクター等の準備を行う。

5 留意点

○60～80代の参加者が多いため、安全面や健康面に留意するとともに、会場内の消毒や緊急時の体制を整えておく。
○時事の話題や問題等、高齢者の方が興味を引くような内容を幅広く検討し、年間計画を立てる。
○報償費等には限りがあるため、社会貢献活動やボランティア等により、報償費が不要ない講師も含めて内容や構成を検討する。

6 成果

○高齢者が市民センターへ出向くきっかけとなる場として、役割を果たせている。
○佐方地域外にお住まいの高齢者の方の参加も見られ、地域の垣根を超えた学びや交流の場となっている。
○参加者が様々な分野のテーマの内容について、幅広く学ぶことができています。

7 課題

○各回の参加申込等の手続は必要ない形をとっているため、参加のしやすさはあるが、当日の受講者や受講者数の把握がしにくい。
○講師による講演等を聞く活動が多いため、受講者自身が考えたり活動したりする場面が少ない。

8 今後に向けて

○ここ2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で、年間計画に沿った活動を十分に行うことができなかった。今後は、講座の内容や活動の形態を工夫して実施していく。
○受講者の実態に応じながら、簡単な演習やワークショップを取り入れる等、より参加型の講座になるように構成を工夫する。